

# 国際協力事業団年報

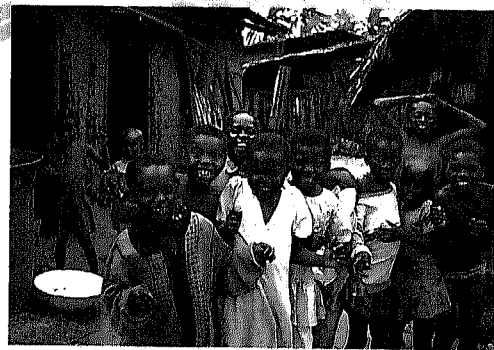
# 1994



JICA LIBRARY



J1162866[6]



国際協力事業団  
Japan International Cooperation Agency











# 国際協力事業団年報

・  
1994

国際協力事業団



1162866【6】

国際協力事業団年報1994

- 第1部 国際協力と国際協力事業団
- 第2部 地域別・主要開発途上国別事業概要
- 付 表 1993年度総括事業実績
- 参 考 事業団の組織および予算

国際協力事業団年報1994（資料編）

- 第3部 国別事業概要
- 第4部 事業実績・事業統計

—表紙・裏表紙—

国際協力フォトコンテスト応募作品

表紙上／インド「A Learning Experience」 Paul Quayle

中／ザンビア「村の編み物教室」高田浩幸

下／ナイジェリア「好奇心の集り」皆川波夫

裏表紙／インド「朝の寸景」樫原富世

（敬称略）



# 序

本年は、国際協力事業団（JICA）が1974年に設立されて20年目、そして戦後復興を成し遂げつつあった日本が1954年にコロンボ・プランに加盟し、それによりささやかながらも援助国としての役割を開始してから40年目という節目にあたります。

1993年までの間に、JICAの前身のアジア協会、海外技術協力事業団、そしてJICAによって日本から海外に派遣された技術専門家、調査団員、青年海外協力隊員の数と途上国から日本に受け入れた技術研修員の数の総計は、約27万人にものぼっています。これら多くの人々の交流に支えられて国際協力が順調に発展し、広く国民の関心と理解を深めつつあることは大変喜ばしいことです。

国際社会にはいまだに、冷戦終結後のさまざまな混乱や無秩序が各所に見受けられますが、一方で東アジア諸国の目覚ましい経済発展、イスラエルとパレスチナ人の和平合意、新生南アフリカの誕生等いろいろ明るい材料も見えております。そうしたなかで、共通の理解を得つつあるのは、開発途上国の貧困、人口の爆発的増加、環境の悪化等のさまざまなむずかしい問題を、人類が協力して解決に向けて努力し、少しでもよい方向に向けることができなければ、本当の意味での国際社会の安定と平和はもたらされないということです。

わが国は、昨年6月に政府開発援助（ODA）第5次中期目標を定め、ODAを国際社会に対する重要な貢献であるとして、これを一層充実していく方針を明らかにしています。また、一昨年6月にはODAの基本理念や重点項目を「政府開発援助大綱」として発表しております。

JICAは、わが国のODAの主要な実施機関として、開発途上国のさまざまな課題に取り組むべき立場にあります。このため教育、環境、貧困、人口等の問題をテーマとした「分野別」の配慮を、また、相手国の現状分析をもとに重点的に協力すべき分野や課題を「国別」に取りまとめて指針とし、またこれら新しい課題に因應するため、実施体制を見直し、その整備強化を行っております。さらに、相手国の真の必要性に少しでも効果的に対応しうよう協力形態の工夫にも努めております。

設立20周年が、21世紀に向けての新しい国際協力のスタートとなることを念じつつ、ここに1994年版国際協力事業団年報を刊行いたします。この年報がこうした日本と世界を取りまく大きな動きのなかで、国際協力の実情ならびに当事業団の事業についてご理解いただくための一助となれば幸いです。

1994年10月

国際協力事業団

総裁

藤 田 公 郎



# 目 次

## ■第1部 国際協力と国際協力事業団

### 第1章 わが国の政府開発援助

- 第1節 政府開発援助の概要……………3
- 第2節 わが国の政府開発援助の体制とそれを取りまく最近の状況……………5

### 第2章 JICA事業概況と主な動き

- 第1節 JICA事業概況……………8
- 第2節 政府開発援助大綱・第5次中期目標と技術協力……………12
- 第3節 環境、人口、WIDなど地球規模の問題への対応……………14
- 第4節 国別アプローチと評価機能の拡充・強化……………19
- 第5節 プログラム・アプローチによる事業実施計画の策定……………21
- 第6節 国民参加型援助の推進……………23
- 第7節 先進国、国際機関との連携……………25
- 第8節 パレスチナへの支援……………26

### 第3章 1993年度事業別概要と実績

- 第1節 案件の発掘・形成と評価……………27
- 第2節 技術協力……………32
  - 第1 技術研修員受入……………32
  - 第2 青年招へい……………39
  - 第3 技術協力専門家派遣……………40
  - 第4 技術協力機材供与……………42
  - 第5 プロジェクト方式技術協力……………43
  - 第6 開発調査……………48
- 第3節 無償資金協力……………54
- 第4節 青年海外協力隊……………59
- 第5節 開発協力……………64
- 第6節 海外移住……………67
- 第7節 災害緊急援助……………71
- 第8節 技術協力専門家養成・確保……………79
- 第9節 技術協力専門家等福利厚生……………83

## ■第2部 地域別・主要開発途上国別事業概要

### 第1章 アジア地域Ⅰ（東・東南アジア）

第1節	地域概説	87
第2節	カンボディア	91
第3節	中国	95
第4節	インドネシア	98
第5節	ラオス	102
第6節	マレーシア	104
第7節	モンゴル	107
第8節	フィリピン	109
第9節	シンガポール	111
第10節	タイ	114
第11節	ヴェトナム	117

### 第2章 アジア地域Ⅱ（南西アジア）

第1節	地域概説	120
第2節	バングラデシュ	122
第3節	インド	125
第4節	ネパール	127
第5節	パキスタン	130
第6節	スリ・ランカ	132

### 第3章 中近東地域

第1節	地域概説	135
第2節	エジプト	137
第3節	ジョルダン	138
第4節	モロッコ	140
第5節	サウディ・アラビア	141
第6節	トルコ	142

### 第4章 アフリカ地域

第1節	地域概説	144
第2節	ガーナ	147
第3節	ケニア	148
第4節	セネガル	150
第5節	タンザニア	151
第6節	ザンビア	153

## 第5章 中米・カリブ地域

第1節	地域概説	155
第2節	コスタ・リカ	158
第3節	エル・サルヴァドル	159
第4節	ホンデュラス	161
第5節	メキシコ	163
第6節	ニカラグア	165

## 第6章 南米地域

第1節	地域概説	167
第2節	アルゼンティン	171
第3節	ボリヴィア	173
第4節	ブラジル	176
第5節	チリ	179
第6節	パラグアイ	181

## 第7章 オセアニア地域

第1節	地域概説	184
第2節	フィジー	186
第3節	パプア・ニューギニア	188
第4節	西サモア	191

## 第8章 ヨーロッパ地域

第1節	地域概説	194
第2節	ハンガリー	195
第3節	ポーランド	196

## 第9章 中央アジア地域

第1節	地域概要	199
第2節	キルギス	200
第3節	ウズベキスタン	201

## ■付 表 1993年度総括事業実績

第1	形態別人数実績	204
1	アジア地域	205
2	中近東地域	206
3	アフリカ地域	207

4	中南米地域	208
5	オセアニア地域	209
6	ヨーロッパ地域等	210
7	国際機関	211
8	全世界	212
第2	事業別人数実績	213
第3	事業別経費実績	214

### ■参 考 事業団の組織および予算

第1	国際協力事業団の沿革	216
第2	組織と定員	218
第3	予算	218

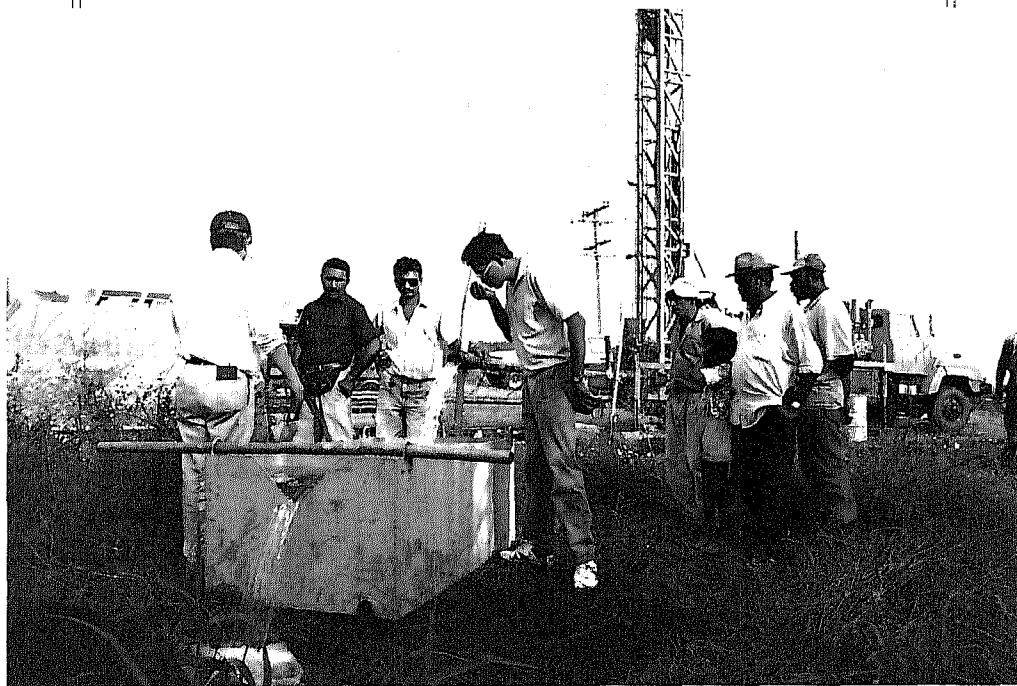
### ■コラム

トップ・ドナーとしての役割も検討	17
積極型環境保全協力プロジェクト	43
マレーシアのビル倒壊災害に救助チーム派遣	72
「難民でない状態にすること」が究極の目標	94
南部アフリカ地域援助研究会の報告書まとまる	145

### ■図 表

経済協力の種類	3
1992、93年のDAC諸国のODA実績	4
1993年のわが国のODA実績	5
わが国のODA実績とJICA事業	8
JICA予算の推移	9
形態別人数実績の推移	9
地域別経費実績構成比	11
分野別経費実績構成比	11
1993年度集団研修コース	33
国際研修センター	37
1993年度プロジェクト方式技術協力実施対象国	45
1993年度プロジェクト方式技術協力案件	46
1993年度開発調査実施対象国	50
1993年度開発調査実施案件	51
1993年度無償資金協力基本設計調査実施対象国	56
1993年度無償資金協力基本設計調査案件	57
1993年度青年海外協力隊派遣国	62
青年海外協力隊派遣取極め締結国	63
海外開発青年国別・年度別送出実績	68
国際緊急援助体制による国際緊急援助隊派遣と物資供与実績	74

# きめ細かな協力を 心がけて



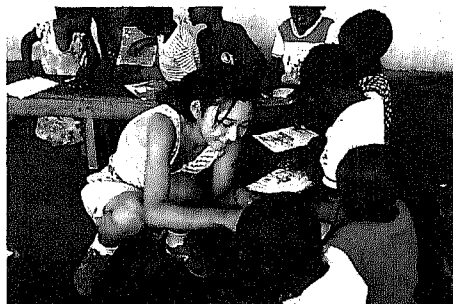
## 開発調査

フィジー ヴィティ・レヴ島北部の地下水開発計画調査



## 無償資金協力

無償資金協力で建設されたパキスタンの  
看護婦・医療技術者養成学校



## 青年海外協力隊

ガーナのナーサリー・スクールで  
子どもたちの指導にあたる隊員



**研修員の受入れ** 神奈川県国際水産研修センターで漁船機関保守を学ぶ研修員

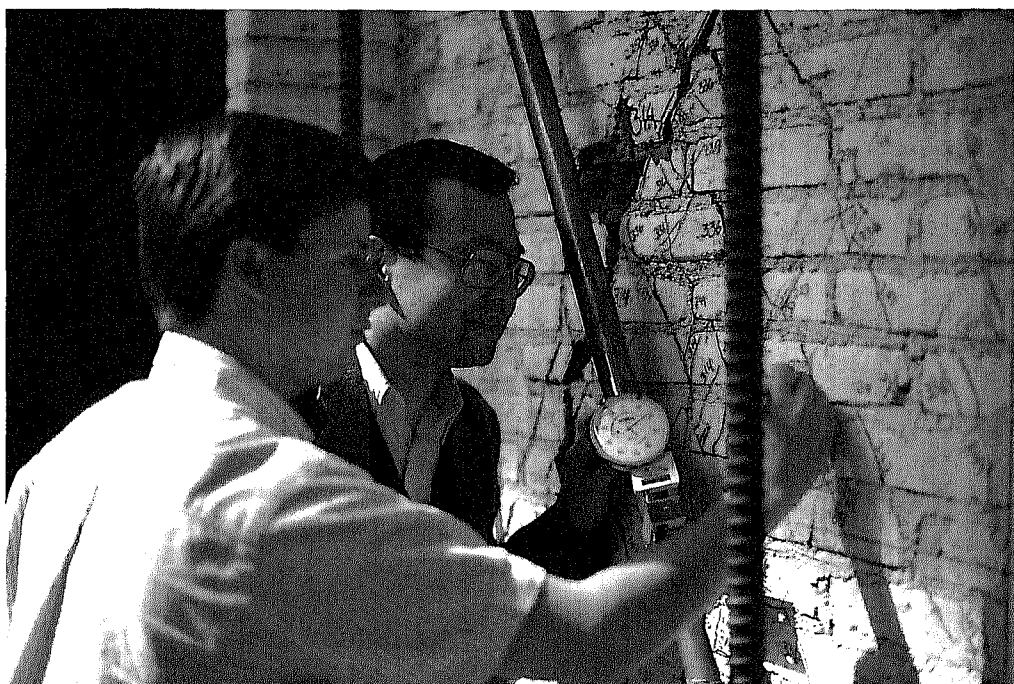


**青年招へい** 小学校を訪問し交流を深める青年



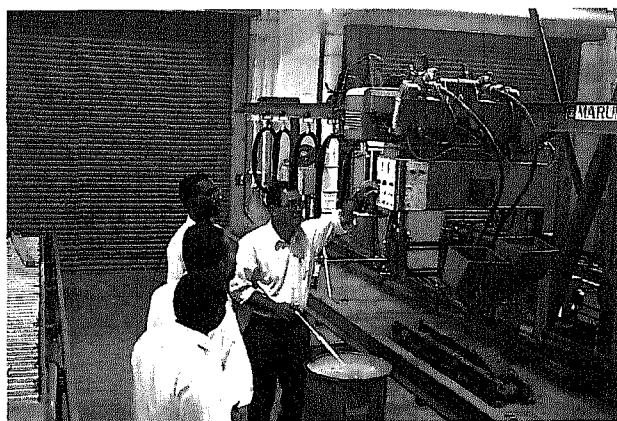
**専門家の派遣** パプア・ニューギニアで日本語を教える専門家



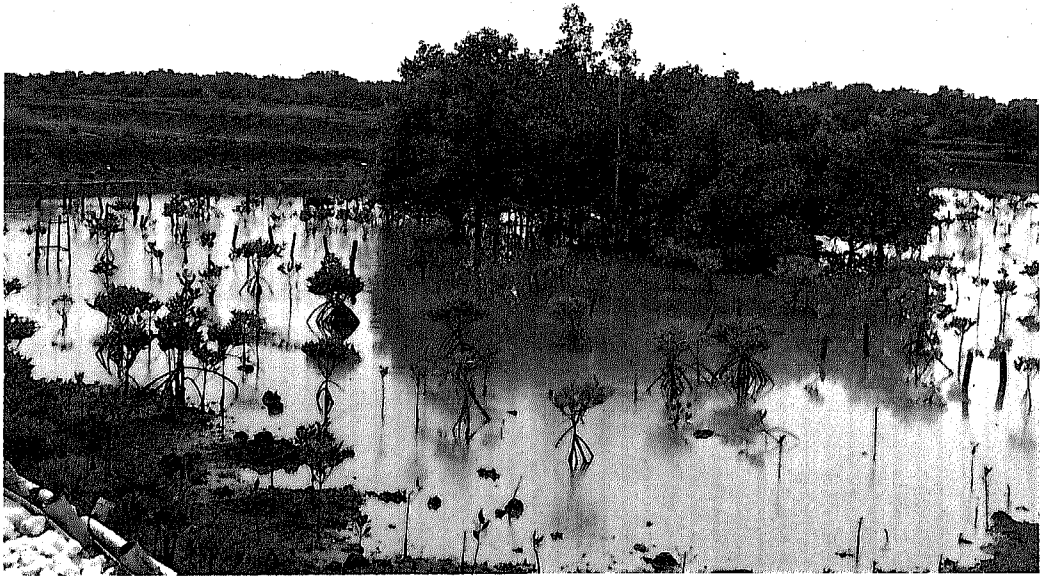


### プロジェクト方式技術協力

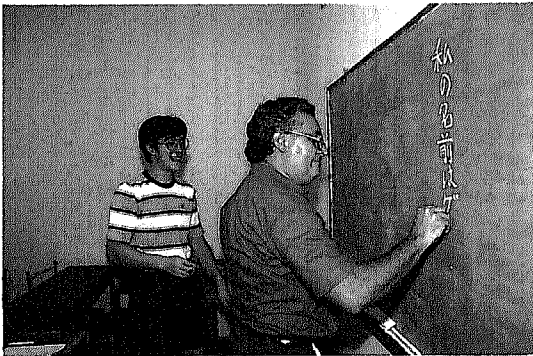
メキシコ地震防災センターで  
研究指導する専門家



### プロジェクト方式技術協力 ケニアNYS学院で指導にあたる専門家



**開発協力** インドネシアのマングローブ林資源保全に協力



**海外移住**  
ブラジルで日本語教育に携わる開発青年

**国際緊急援助隊**  
マレーシアのビル倒壊災害で  
救助活動を行う救助チーム



**JICA設立20周年記念シンポジウム**  
1994年6月4日 新宿・朝日生命ホール